

集団的自衛権の行使を認める憲法解釈の変更には、自民党内で唯一、明確に反対の声を上げ続ける村上誠一郎衆院議員(六三)は元行革担当相、愛媛2区がじわりと支持を広げている。全国から激励のメールやファクスが寄せられ、インターネット上でも村上氏を応援する声があふれる。党内では孤立している村上氏だが、党外の視線は熱い。(清水俊介) 関連2面

自民内で「解釈改憲反対」

村上氏に激励続々

全国からメール、ファクス



村上誠一郎議員

むらかみ・せいいちろう
1952年、愛媛県生まれ。東大卒。86年に衆院議員に初当選し、当選9回。行政改革担当相などを歴任。

は、事務所のファクスが鳴りやまなかった。六月二十七日以降ファクスは三百通以上、メールは二百八十通以上が届いており、今も増え続けている。

北海道旭川市の女性はファクスにこうつぶづった。「こういう政治家を選べる愛媛の人がうらやましい」

「自民党にも私たちの代弁者がいると知り、うれしかった」 「自民党は支持しないが、筋を通す政治姿勢に感銘を受けた」 「集団的自衛権の行使容認に反対を貫いて」。最近、村上氏の事務所へ届くメールやファクスは激励一色だ。

内ただ一人、明確に反対した。新聞や雑誌などで安倍首相の政治手法を批判し続け、六月二十七日には外国特派員協会でも会見した。この記事がインターネットで流れると、応援のファクスは一気に増えた。インターネット上には、「村上議員を応援しよう」という声があがっている。

村上氏は安倍晋三首相が解釈改憲を行う意向を示した段階から一貫して反対を貫いてきた。昨年も特定秘密保護法について、自民党

「村上さんの発言を『おかしい』と批判する支援者はいない。みんな、今の自民党に疑問を感じている。村上さんがいることは自民党にとってもいいことだ」と断言する。その上で「村上さんと同じように思っている自民党の国会議員は少ないはず。声を上げてほしい」と期待する。